

# 福井県嶺北地域公共交通計画について

令和4年4月15日

福井県地域戦略部交通まちづくり課

# 1 嶺北地域公共交通計画の概要

- ①計画の名称 福井県嶺北地域公共交通計画
- ②計画の区域 福井県嶺北地域（11市町）
- ③計画の期間 令和6年度～令和10年度（5年間）
- ④計画の位置づけ

## 【上位、関連計画】

福井県長期ビジョン

ふくい創生・人口減少対策戦略

福井県高速交通開通アクション・プログラム

FIRST291～北陸新幹線開業プラン～

ふくい観光ビジョン

統合

嶺北地域公共交通計画

統合

市町や  
地域鉄道の  
地域公共  
交通計画

嶺北地域の交通計画では、  
広域的な課題を扱う

主に地域内や鉄道沿線  
地域の交通に関する取組み

# 2 上位、関連計画との関係

## 福井県長期ビジョンとの関係

### 福井県長期ビジョンとは

#### 基本理念

**「安心のふくい」を未来につなぎ、  
もっと挑戦！もっとおもしろく！**

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを、みんなで守り、次世代に引き継ぎます。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指します。

#### 基本目標

**しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい**

**「幸福度日本一」の質の高い暮らしを実現する、  
新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築きます！**

- 高速交通・物流網の早期完成により、福井県が「国土の新拠点」に
- 千年を超える歴史と文化に一段と磨きをかけ、国内外から多くの人が往来
- 日本一の人材力・技術力を活かした新たな産業が集積

※活力人口100万人…定住人口の確保に加え、交流人口・関係人口を拡大し、内と外が活発に交わることで福井の活力を一段と向上

**「交流」や「暮らし」との整合性を  
図っていく**



### 3 福井県嶺北地域公共交通計画 検討の視点

- ・ 地域の移動手段として持続可能な交通ネットワークの構築
- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を波及させるため新幹線駅からの利便性の高い二次交通の整備
- ・ 公共交通での移動を楽しめる仕掛けづくり

# 4 公共交通の状況①

## 福井県内のアクセス

### 福井県内の主な鉄道・バス路線図

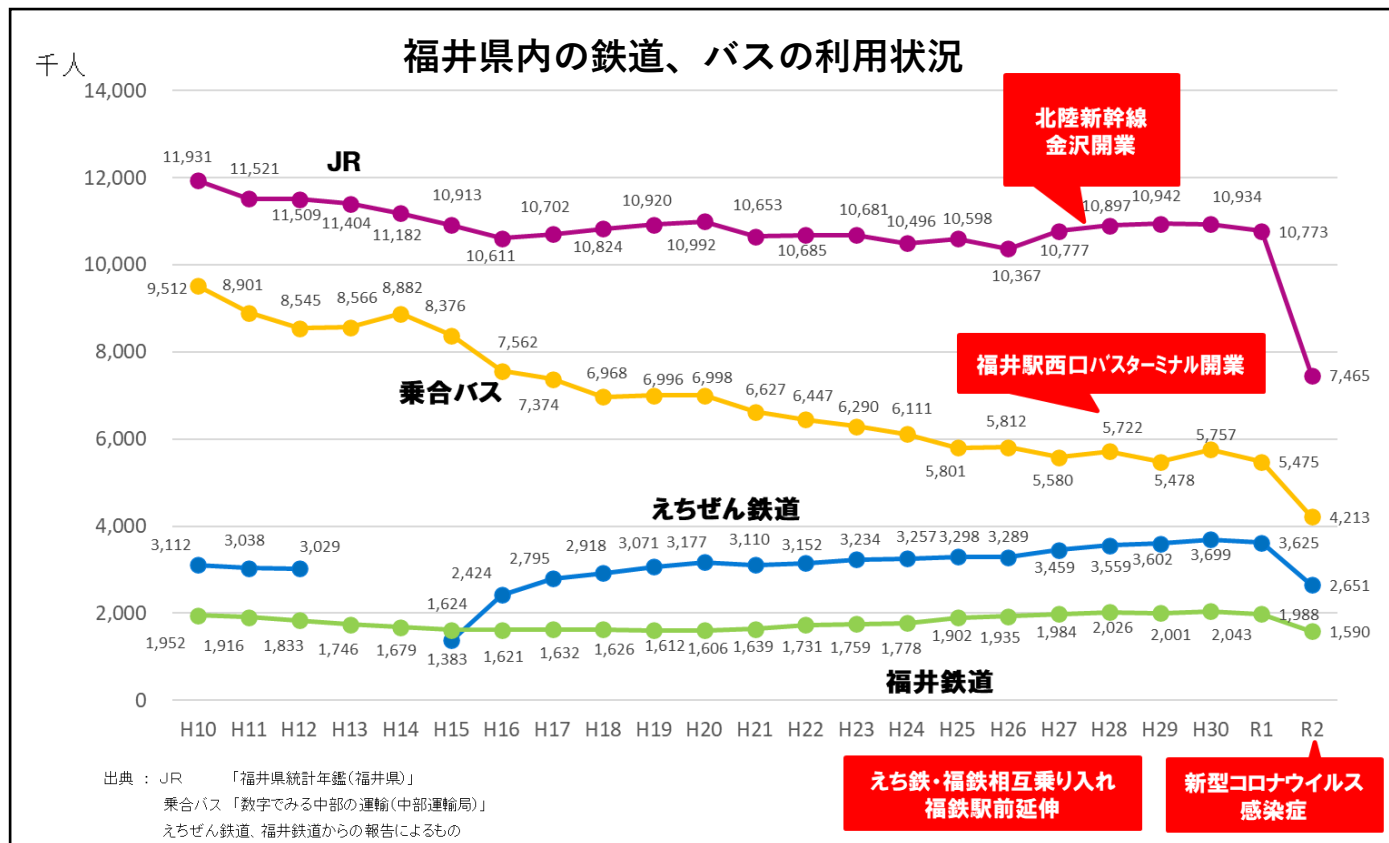
-  JR線
-  私鉄線
-  京福バス
-  福鉄バス
-  コミュニティバス
-  特急・急行停車駅



日本海

# 4 公共交通の状況②

- ・バスの利用者数は年々減少し、R2年度は過去最少。地域鉄道については、相互乗り入れの実施等により増加傾向にあったが、**新型コロナウイルス感染症の影響を受け、極めて深刻な状況**
- ・R3年度はコロナ関連の支援として鉄道・バス・タクシー等を合わせ、県で6億円の支援を実施

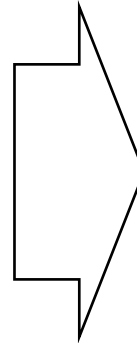


# 5 地域交通の現状①

【世帯当たり車保有台数】 < R3.3末 >

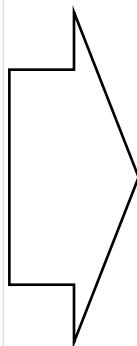
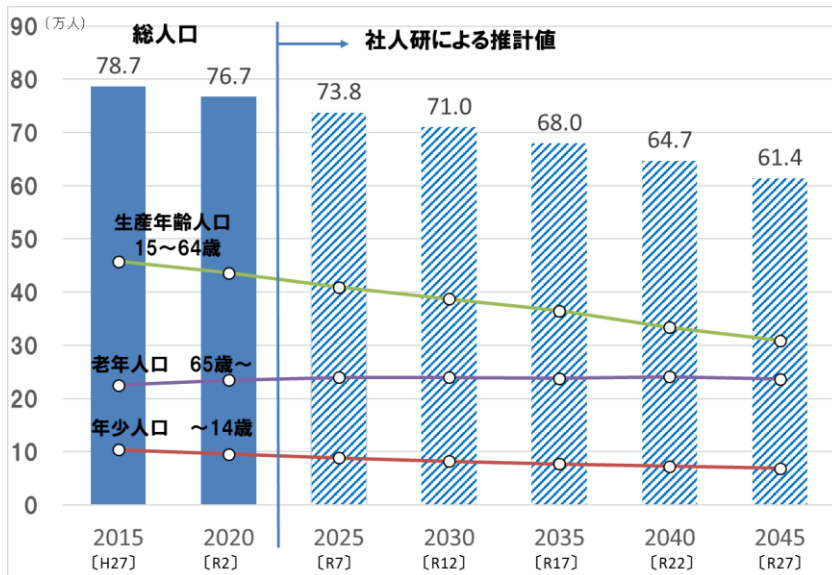
順位	都道府県名	世帯当たり車保有台数
1	福井県	1.715
2	富山県	1.660
3	山形県	1.654
全国平均		1.037

出典：（一財）自動車検査登録情報協会調査



- ・ 福井県は日本一のマイカー県
- ・ 公共交通利用の意識づけとともに、利便性向上に向けた取組みが必要

【福井県の将来人口推計】



- ・ 2000年の82.9万人をピークに減少  
2045年には61.4万人に  
(社会保障・人口問題研究所推計)
- ・ 公共交通の利用者減、担い手不足

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口（H30推計）」

## 5 地域交通の現状②

地域間幹線系統（広域路線バス）にかかる行政支援額（令和3年度）

（百万円）

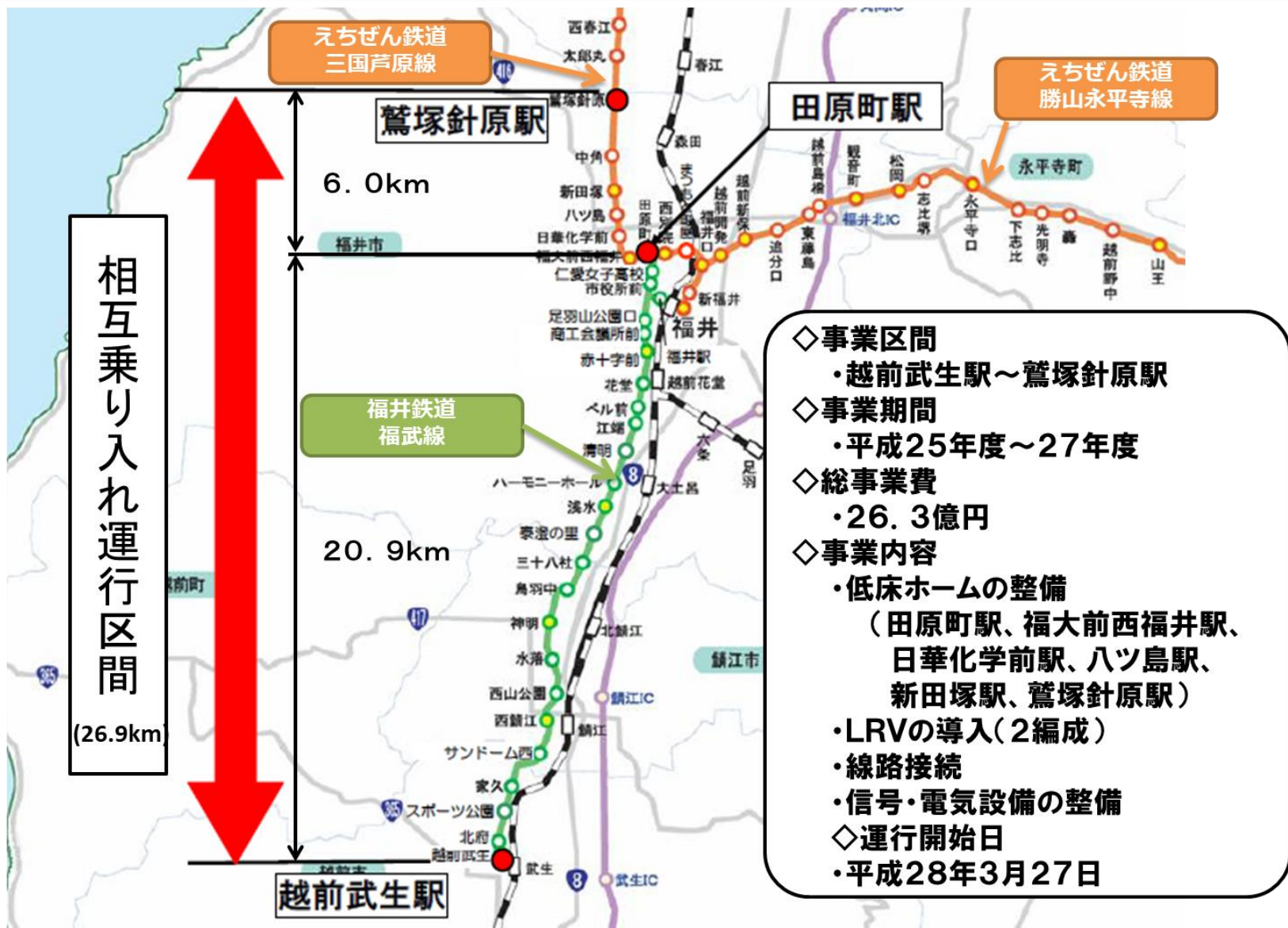
	支援額		合計
	通常分	コロナ支援分	
国	146	62	208
県	146	138	284
市町	199		199
合計	491	200	691

- ・路線バスの運行は、多額の行政支援により支えられており、**持続可能性を高めるための取組みについて検討が必要**である。



# 6 地域交通の確保に向けた取組み①

## 福井鉄道・えちぜん鉄道の相互乗り入れ【事業の概要】



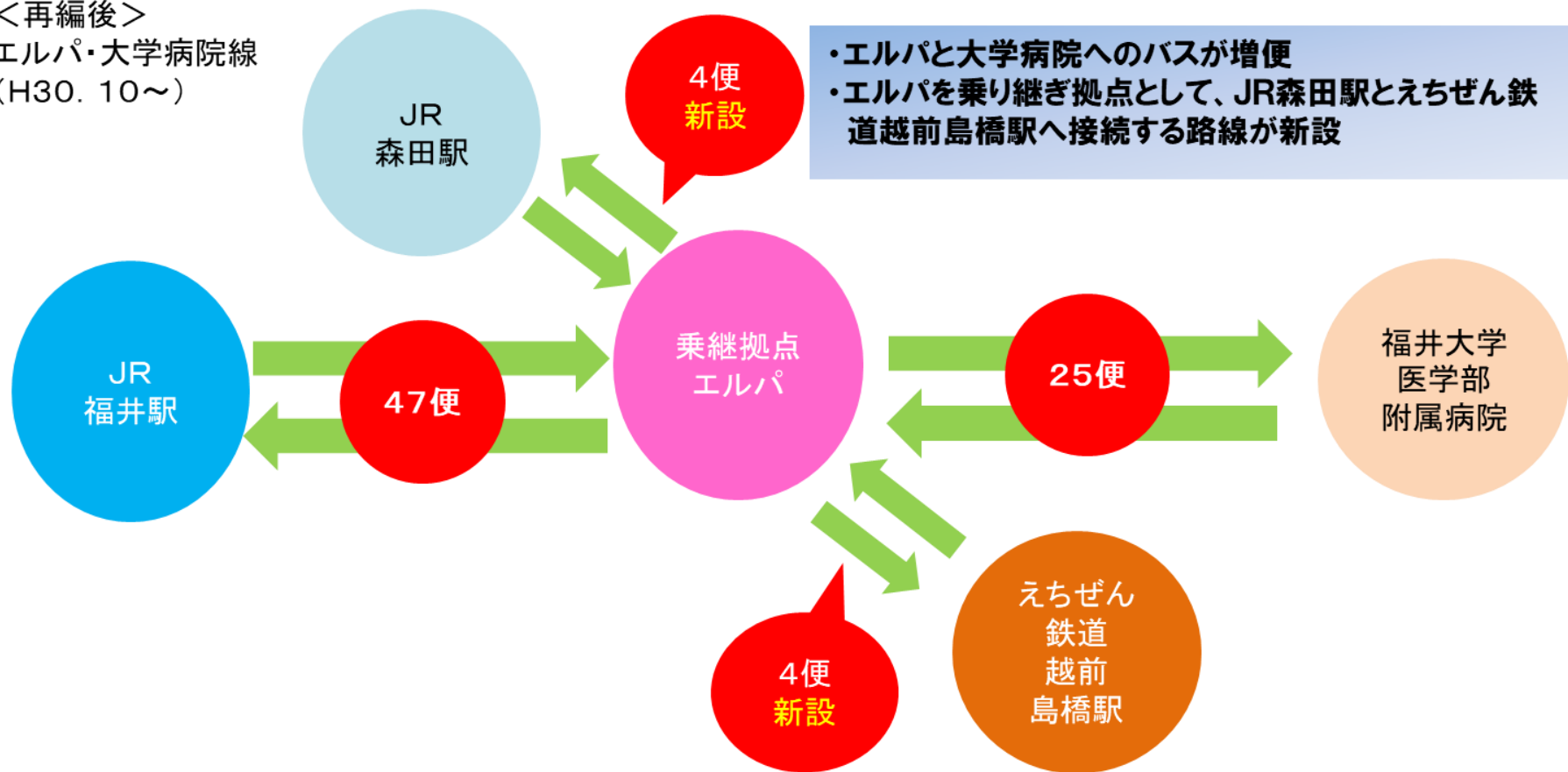
# 6 地域交通の確保に向けた取組み②

## 県内バス路線の再編

### ○路線の再編による路線バスの運行確保

- <再編前>
- ・福井駅からエルパまで、4路線46便が運行
  - ・エルパから福井大学医学部附属病院まで、2路線14便が運行

<再編後>  
エルパ・大学病院線  
(H30. 10~)



# 6 地域交通の確保に向けた取組み③

## 【自家用有償旅客運送】

- ・ 交通空白地において、住民等が自家用車（白ナンバー）を使い有償で運送
- ・ 交通空白地と公共交通網をつなぐ手法として期待

永平寺町 近助タクシー（R元.11～）



運行ルート：地区住民宅⇔町内目的地  
(鉄道駅、スーパー等)

運行車両：ワゴン車（町リース車両）

料 金：大人300円、小学生50円

運 転 手：地域住民

池田町 マイバス（H31.4～）



運行ルート：池田町内⇔福井駅、済生会病院等

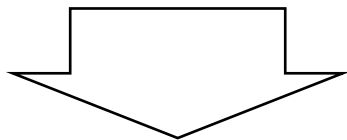
運行車両：ワゴン車（町所有）

料 金：中学生以上1,000円、小学生500円

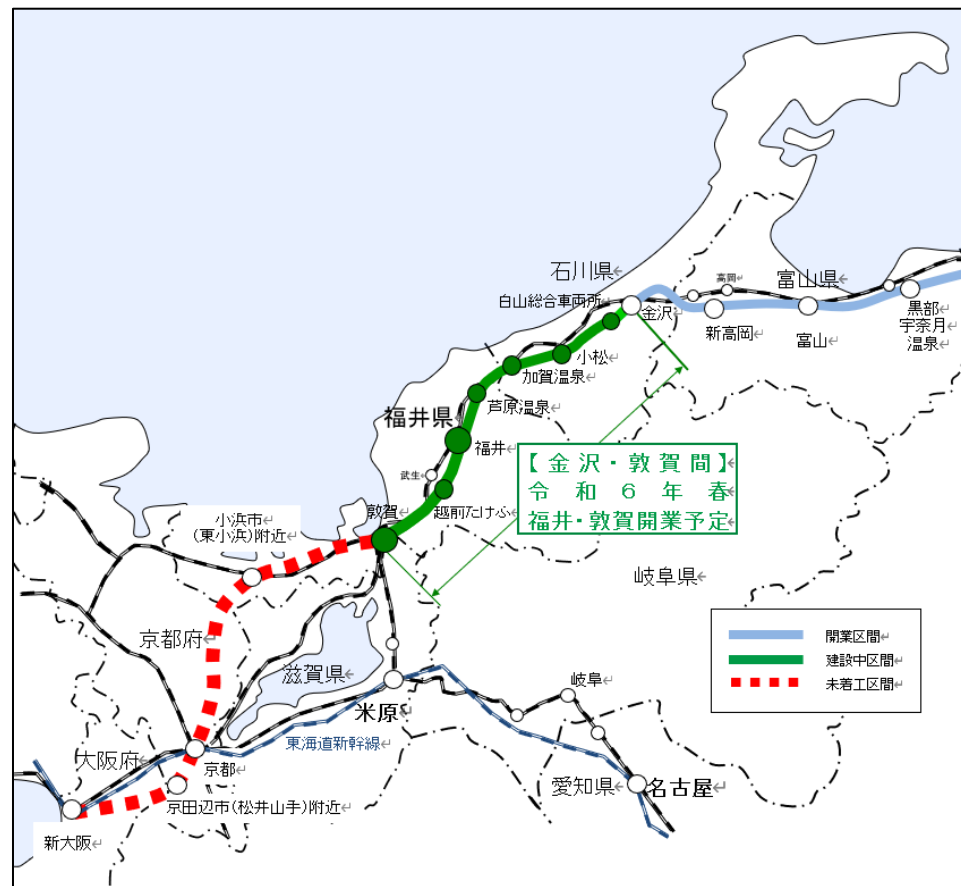
運 転 手：地域住民

# 7 北陸新幹線の開業

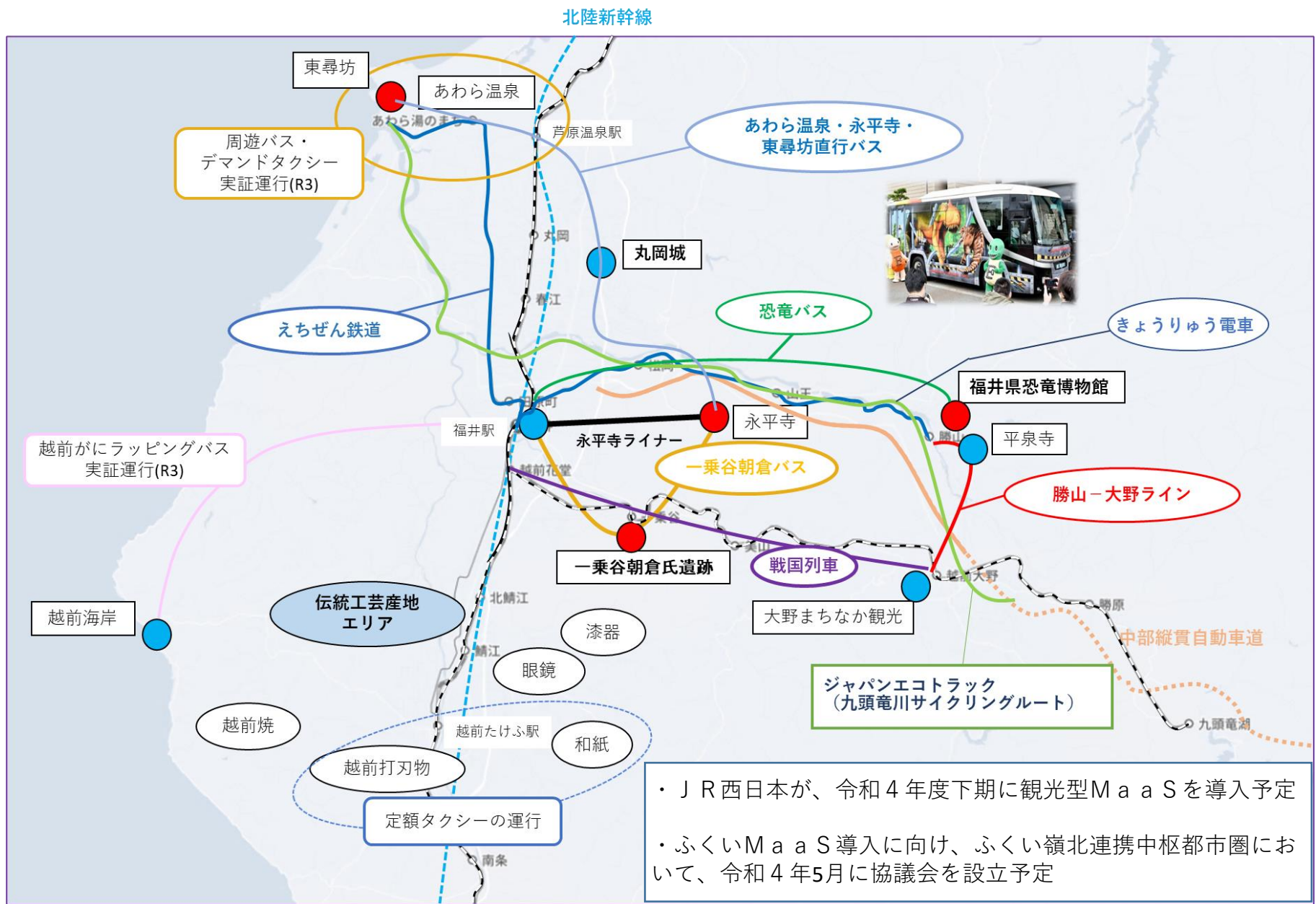
- ・ R 6 年春に北陸新幹線の福井・敦賀開業を控えており、主要都市からの移動時間の短縮と交流人口の拡大が予想され、**開業効果を地域全体に波及させる必要がある。**



- ・ **新幹線駅から観光地等への利便性の高い二次交通を整備し、開業効果の県内全域への波及を図る。**



# 8 北陸新幹線開業に向けた二次交通対策①



- ・ J R西日本が、令和4年度下期に観光型M a a Sを導入予定
- ・ ふくいM a a S導入に向け、ふくい嶺北連携中枢都市圏において、令和4年5月に協議会を設立予定

# 8 北陸新幹線開業に向けた二次交通対策②

## 公共交通情報(バス)の経路検索対応

### Googleマップ路線検索対応



Googleマップで福井駅から福井県立恐竜博物館までの経路を検索

【対応前】

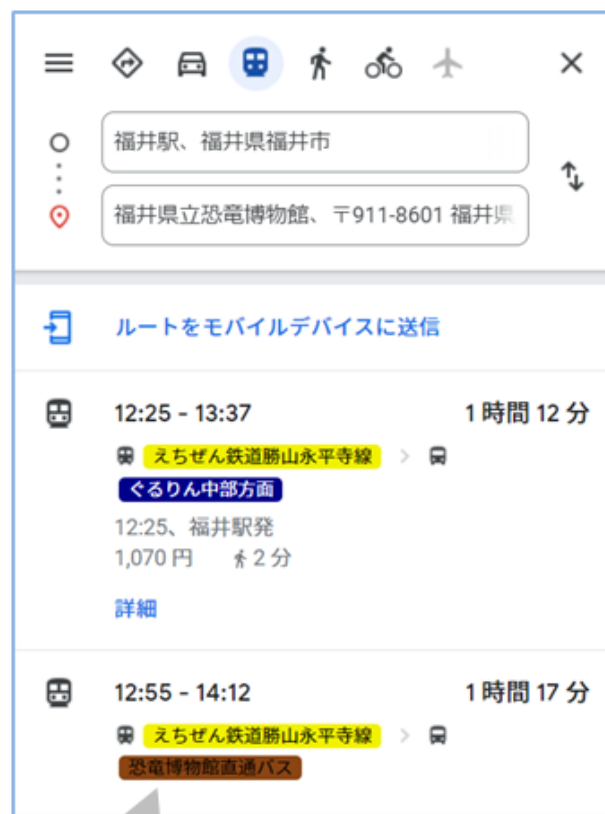


電車、バスの経路案内は表示されない！  
実際には公共交通で行くことが可能

恐竜博物館へのアクセス

JR福井駅下車、えちぜん鉄道勝山永平寺線「勝山行き」乗車(約1時間)→勝山駅下車、コミュニティバスにて約15分

【対応後】(令和2年12月～)



バスでの経路案内が表示

# 9 今後のスケジュール（案）

## 令和4年度

4月15日 協議会設立総会  
・委員、規約、予算案等の承認  
現状・課題について協議

5月～6月 調査事業の契約

6月 第1回協議会  
・現状把握、実態調査方法協議

11月 第2回協議会  
・調査結果説明

3月 第3回協議会  
・施策の方向性について協議

## 令和5年度

上期 第4回協議会  
・骨子案協議

下期 第5回協議会  
・計画案協議

パブリックコメント

第6回協議会  
・計画策定

県は、県内の**市町村と共同して**、地域公共交通計画を作成するよう努めなければならない。（法 § 5 ①）

※県と市町の共同事務局で計画案検討

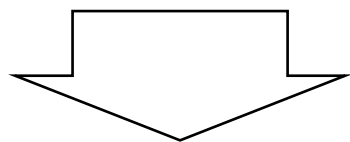
## ◆法定記載事項（法 § 5 ②）

記載事項	概要
①基本的な方針	計画が目指すべき将来像と、その中で公共交通が目指すべき役割を明確化し、取組の方向性を定める。
②計画の区域	当該地域の交通圏の範囲を基に計画の区域を設定する。
③計画の目標	①の基本的な方針に即して目標を設定する。
④事業・実施主体	目標達成のために提供されるべき地域旅客運送サービスの全体像・具体的なサービス水準を定める。併せて、その実現に必要な事業・実施主体を整理する。
⑤計画の達成状況の評価	達成状況の評価計画と評価を踏まえた見直し方針を立てる。
⑥計画期間	原則5年程度だが、地域の実情に合わせて設定する。
⑦その他	

（国土交通省資料から抜粋）



- ・ これまでに5市町において、単独の地域公共交通計画が策定されている。
- ・ 鉄道沿線地域の交通計画（えちぜん鉄道、福井鉄道、並行在来線）にはすべての沿線市町が策定に関与
- ・ 市町の計画はコミュニティバスなど市町内の移動に関する取組みが主であり、広域バス路線については、幹線としての位置付けのみのケースもある。



**広域バス路線の維持確保**については、県が必要な取組等を取りまとめる役割を担い、関係する市町と連携して実施することを目指す。